



同窓会報 第29号

平成7年8月1日

(社)上田高等学校同窓会

〒386 上田市大手1-9-8

TEL/FAX 0268-22-3146

発行人 金子 八郎

(題字は金子理事長)

(発行部数 24,000部)

印刷所 田辺印刷(株)

ハンドボール班10年ぶりインターハイへ!!

写真は強豪石川県小松明峰高校との対戦
(北信越大会・戸倉町総合体育館)

から上田高校へ
(安保闘争と所得
増政策のころ)・そ
れからの上田高校
(学
校紛争のころ)



五年の歳月をかけて編集に取
り組んだ委員諸氏の熱意が結実
して、「長野県上田高等学校校史
高等学校第一編(写真)」が去る
三月十五日に発刊された。
昭和二十三年から四十八年ま
で、上田松尾時代より上田高校
初期までの四半世紀の記録を、
上田松尾の発足(新教育制度の
出発)・上田松尾の成長期(平
和条約締結のこ
ろ)・上田松尾
から上田高校へ
(安保闘争と所得
増政策のころ)・そ
れからの上田高校
(学
校紛争のころ)

校史「高等学校第一編」発刊

(社)上田高等学校同窓会

平成7年度

会員大会(総会)のご案内

★期日 9月9日(土)

会場 ハニーウェル(上田市農協会館)
TEL 0268-25-2874

上田市大手二丁目(上田公園前) 上田駅より徒歩15分

受付会 15:00より

開会 16:00

懇親会 16:45~18:30

会費 3,000円

お堀

昭和の初期の頃からの風物詩、戦国時
代の名残を留める上田藩主の古い館跡。
そのくすんだ堀の低い土手の上で、
書物片手に、破れた黒の学帽学生服の生
徒たちが、いつも鈴なりにたむろする姿を、市民や
少年たちは「土手がらす」と呼んだ。

往時、長野県立上田中学校は男子校であった。

男子生徒ばかりの五年制。東信一円から集った生
徒たちは、気骨を尊び、勉学に明け暮れた。この平
和な学校も、昭和十六年(一九四一年)の初冬、太
平洋戦争の開戦を期に、校内生活が急変した。

緒戦の戦勝は半年も続かなかった。戦局は次第に
悪化し、学園も軍事教練や、農村への勤労奉仕が強
化され、日増しに、勉強なき学校生活となった。

生活物資や食糧の極度の欠乏の中、黒の制服もカ
ーキー色の国民服ゲートル姿に。昭和二十年、上中
四、五年生は、軍隊への志願組と、各地の軍需工場
への動員組に別れて、母校を離れた。そしてアカシ
アの木の下に、「土手がらす」も居なくなった。

半年後、真夏の太陽の下、空腹と疲労を抱え、立
ち並んだ軍需工場の広場で、敗戦のラジオ放送を聞
いた。連日、昼夜を分かたず狂ったように続してい
た兵器工場の騒音が、かき消え、奇異な静寂と非現
実的な時空の中で、遠くで夏蟬が激しく鳴いていた。

虚脱感と妙に生々しい解放感が交錯した。

昭和二十年八月十五日正午。

その秋、私たちは古い校門を去った。
あれから、半世紀経った。

いま五十年目の夏が訪れる。(佐藤)

紙面案内

- P2 維持会費拠出一覧・代議員会、%条項元年
- P3 支部日より、トピックス
- P4 《カラー》ふるさとより・高速交通網時代へー斜張
- P5 橋と上田ローマン橋、マルチメディア時代へー第一歩
- P6 母校のクラブ活動紹介
- P7 同期会・OB会通信
- P8 《カラー》古堀とお堀・高校史発刊・ピンチ維持会費

「同窓会維持会費」期別拠出額一覧表 平成6年度

Table with columns: 期 (Year), 人数 (Number of people), 金額 (Amount), 期 (Year), 人数 (Number of people), 金額 (Amount). Rows list years from 16 to 54 and their corresponding financial data.

* 印は前年比20%増額の期

維持会費納入に協力を
新役員で新風を

代議員会 金子理事長述べる

平成七年度代議員会は六月三日開き、平成六年度事業報告、一般会計ほか収支決算報告・同監査報告、平成七年度事業計画及び一般会計予算を会員大会に提案することを承認、本部役員改選のための選考委員選出をした。なお、会員大会は55・60・65・70各期の代議員が実行委員となって一ページ掲載とおり実施することを決めた。席上、金子理事長は、統一地方選挙では「政治的に中立ではあるが、同窓生から多くの首長や議員が選出され、喜ばしい」と実情を説明された。

水野副理事長から事業、会計などの説明があったが一般会計次年度繰越金が「過去十年間で最低額になった」ことを強調、維持会費の協力を呼び掛けた。

前年度繰越金

過去十年で最低に

前と同様に信越線沿線地域などからも精鋭が集まり、母校がさらに活気あふれるものとなりそうだ。

〔一般会計〕
6年度決算・7年度予算(要約)

Table with columns: 収入の部 (Income), 6年度決算額 (6th year actual), 7年度予算額 (7th year budget). Rows include 新入生入会費, 維持会費, 会館負担金, etc.

Table with columns: 支出の部 (Expenditure), 6年度決算額 (6th year actual), 7年度予算額 (7th year budget). Rows include 管理費, 人件関係費, 会議関係費, etc.

%条項元年

二十五人が入学

昭和四十九年に十二通学区制一〇%まで受け入れてよかつたがしかれてから二十一年後の今ので最大四十人までは入学でき春、高校入試制度の手直しが行われ、母校にも二十五人がこの適応となり隣接通学区より入学。

その出身中学は長野市が二人、以下更埴市一、埴科郡一、北佐久郡十、小諸市九、佐久市一、南佐久郡一である(坂城・北御牧は調整区のため除く)。定員の

また、役員改選について、次の選考委員八氏を選出し、八月末までに新役員を選考する。藤森富男(40期)、水野春海(42期)、白鳥隆夫(60期)。

情熱の60期会!
集おう会員大会。

平成7年度 会員大会実行委員

- 瀬川 豊秀 (副実行委員長)
日置 勇二・白鳥 隆夫
土屋 勲彦・和方 俊二・高寺 誠



古城の門をいで入りて 不動の心山に見る 我に至高の望あり 拳世の浮華に迷はんや

支部だより

阪神大震災のりいえて

関西支部

一月十七日に発生した大震災で、支部会員も被害を受けた。全壊六戸、半壊七戸をはじめ一部損壊の家屋の会員も多く出た。さっそく震災対策委員会を設け、義援金活動を実施した結果、当支部だけでなく、本部や関東支部などからも多くの義援金をいただいで、被害会員のお見舞ができた。特に本部からは「上田高校同窓会および上田高校」の名義で、甲子園基金から多額な義援金をいただき、深く感謝している。

支部を発足

中南信支部

平成六年十一月十二日(土)松本グリーンホテルで、待望の中南信支部が発足し、第一回総会開いた。

小林茂昭発起人代表(54期)が挨拶と経過を報告、支部長に就任した。金子理事長(39期)、山崎関東支部長(48期)、小山長野

栄えある受章おめでとうございます

平成6年度 秋の受章者

吾妻良秋氏(26期) 勲五等瑞宝章
 関透氏(33期) 勲六等单光旭日章
 一志淑夫氏(40期) 勲三等旭日中綬章
 中曾根幸夫氏(41期) 勲四等瑞宝章
 鶴沢守氏(48期) 紫綬褒章

平成7年度 春の受章者

増田吉氏(35期) 黄綬褒章
 渡辺承氏(40期) 勲五等瑞宝章
 松山徹氏(50期) 藍綬褒章

女性同窓会

各地で発足

「関東女性同窓生の会」(代表 52期池田松子 関東同窓会副会長)が東京新宿の柿伝で一月二十二日発足した。女性二期生52期はじめ二十八人が集い、本部代表も参加して讃辞を述べた。

さらに「関西支部女子卒業生の会」も池田貞子さん(52期)らが世話人になって五月二十八日発足した。第一回は六人だった

人脈の輪を

関東同窓会

七月八日(土)神田一橋如水会館で開いた。今回は松園裕実実行委員長(43期)のもと、43・52・53

七の日の歓談

長野支部

長野支部は、恒例の七夕会を長野市山王共済会館で開いた。ことは、七月七日、午後六時から始め、七時には大きな盛り上がりを見せた。参加者百二十余人は来賓の本部役員を交えて、「七の日の歓談をくりひろげた。

統一地方選・同窓生の活躍

が、七月の第二回は大勢の参加者で盛り上がった。また、「女子卒業生の集い」は滝沢千恵子本部理事(52期)ら発起人六人が中心となり、上田ささやで七月二日開かれ、三十二人の盛会となった。

今後の活動を期待したい。四月の統一地方選挙で多くの同窓生が当選した。首長は柳沢

母校の状況

(平成七年五月一日現在)

学年	全日制				定時制				計	
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	4年		
クラス数	10	10	11	31	1	1	1	1	4	
生徒数	239	233	242	714	10	5	4	14	33	
生徒別	男	164	169	190	523	13	3	7	6	29
	女	403	402	432	1,237	23	8	11	20	62
生徒数	全・定合計 1,299名									
教諭・講師	91名									
事務職員	6名									
助手・校用技師	6名									
学校長	藤澤 愛信 全日制教頭 小野 仁志									
定時制教頭	奥原 敏夫 事務長 山崎 悦雄									

50期

昭和27年卒の皆さんへ

還暦も過ぎました。同期の和を大切に、末長く育てて行きましょう。

◆平成8年8月中旬50期同期会総会開催を予定しています。今から参加を予定して下さい。

◆当番幹事(アイウエオ順)

幹事長 田中 公雄 TEL 0268-35-0187
 幹事 石井 俊夫・井出 藤寿・五十嵐 明迎
 上野 晴美・小野 洋・倉島 秀雄
 半田 収一郎・平尾 哲男・宮尾 誠治
 矢島 孝夫・四方 公雄

◆隔月定例会(奇数月の12日)開催
 「桂旅館」上田中央2-1-5
 TEL 0268-22-1940・24-2737
 ◆時間 午後6時30分より
 ◆お気軽にお出かけ下さい。

ふるさと
だより



斜張橋・アーチ橋完成間近 北陸新幹線と上信越自動車道

▲北陸新幹線の斜張橋

上田市下堀の千曲川にかかる橋が斜張橋だ。橋の長さは二百七十メートル。完成すれば、コンクリートの斜張橋としては日本一の長さになるという。

と丸子トンネルを抜けて千曲川を渡って上田市に入る。千曲川の清流を下に、烏帽子岳や太郎山、上田の市街地も見渡せる。新幹線の旅をする人たちにとっては一幅の絵と言っても良い景观だ。

路面となる部分に土を詰めて舗装するものだ。土の深さは一番深い所で十三メートル、浅い所で五十センチメートルとなる。これに使う土は一万三千立方メートルになる。ちなみに橋に使われたコンクリートは四万六千立方メートルで生コン車一万台分だ。

これからは土を詰める工事で十一月には終り舗装されることになる。上田コーマン橋ま、上信越自動車道

本道路公団が、ここをアーチ橋にしたのは、地盤が良かったことや周囲の景観にも配慮したからという。

充腹アーチ橋の良い点は、土を詰めて舗装することから、橋げたの継ぎ目がなく、自動車でも走ってもガタガタいわないし、橋の傷みも少ないことだ。

日本道路公団上田工事事務所が担当する小諸 更埴間は、今、六〇パーセントの進捗よく率だが、平成八年度中の開通を目指している。

県工科短期大学校開校

上田市に県立の「長野県工科短期大学校」が今年四月開校した。上田市下之郷のリサーチパーク内だ。

生産技術科、制御技術科、電子技術科、情報技術科の四科で二年制の学校。

次世代の産業界を担う人材育成機関として、県内の

経済界から大きな期待がかけられている。一科の定員は二十人で、今年は四科併せて八十三人が第一期生として、希望に胸をふくらませて校門をくぐった。

入学者のうち二人は東京、埼玉県からの県外者だ。

学校では、二年間の授業時間を二千八百八時間とし、そのうちの九割は専門科目の時間で、卒業したら即戦力となる人材育成に力を入れたカリキュラムを組んだと話している。

夢、あきらめないッ!

'94・'95 大学受験科上田高出身者合格実績抜粋

京都大学(経)(工)、大阪大学(理)(薬)、東北大学(薬) 東京外国語大学(外)、お茶の水女子大学(文教)、北海道大学(理)、自治医科大学、防衛医科大学校、産業医科大学、広島大学(医)、信州大学(医)、山形大学(医) 他多数

公認 上田Y.S.A大学予備校

上田市中心1-6-2 TEL0268-25-5555(代)



6期 30周年大準備会



今は、このケーブルはすべて張り終っている。後は両側七メートルづつ、コンクリートを打ち作業が残っている。同窓会の会員大会が行なわれる頃には橋は完成する。そして、レールを敷くための工事へと移っていく。コンクリート製の斜張橋は、トラスと呼ばれる普通の鉄橋に比べると費用は高めだが、振動や騒音が少なく、景観的にも優れているという。

▲上信越自動車道アーチ橋
二十のコンクリート製のアーチをつないだアーチ橋。長さは七百四十四メートル余りで、この橋もコンクリート製のアーチ橋としては日本一の長さになる。六月十日、二十のアーチをつなぐ最後のコンクリートが打設されて全部が繋がった。この日は橋が上がる祭りが行なわれて橋の命名があった。「上田ローマン橋」。

四十四本のケーブルが使われている。通する予定だ。

市に入ったって神川にかかる橋。日名所となるだろう。



長野冬季五輪エンブレム

花卉のように見える形の一つひとつはスポーツ競技を行う選手達の、力強くダイナミックなフォームをモチーフとした。可憐に咲き乱れる高山植物とも見ることができ、長野オリンピックが自然との調和にも力を入れている面をアピール。全体の動きはマークの中心に焦点を結んでいる。これは、世界中から長野に集う人々の情熱と、長野から世界に発信されるゲームの感動と情報を表現している。



マルチメディア施設

上田市・丸子町

上田市下之郷に「マルチメディア情報センター」が完成し、八月五日に開所式が行なわれる。この情報センターは、上田市が、国や県の補助を得て、建設していた。

マルチメディアギャラリー、マルチメディアホール、マルチメディアライブラリー、デジタルファクトリー、それにセミナールームから成っている。ギャラリーは、市民にマルチメディアへの理解を深めてもらうため、簡単な操作で体験できるコーナーとなっている。ホールは、二百五十インチのスクリーンを備えている。マルチメディア作品の発表の場であったり、研修会、講演会など多目的に利用できる。

ライブラリーは、市販のCD-ROMが視聴できる施設だ。

またデジタルファクトリーは上田地域の情報関連産業のソフト制作の拠点にしたいという。マルチメディア情報センターでは「グラフィックを中心にマルチメディアを理解してもらい、人材の育成・研究開発を進めて、上田から発信できる情報のデータベース化を計りたい」としている。

ところで、丸子町には、特別認可法人の情報処理振興事業協会が全国で唯一の「マルチメディア支援センター」(仮称)を建設して、九月四日にオープンする予定だ。

こちらは上田市の情報センターより高度な研究開発、ソフト制作、さらに人材の育成を目指している。いわば、研究者のための施設だ。

上田地域に二つのマルチメディア関連施設が出来ることから未来の映像産業への夢がふくらんでいる。

自動車道が小県郡東部町から上田で、完成すれば上田市の新しい市に入ったって神川にかかる橋。日名所となるだろう。



青春に再会!!

9月9日平成7年度上田高校同窓会
会員大会開催 実行委員長大井信一(55期)

55期(昭和32年卒業)同期会開催

会員大会終了後 ■日時・9月9日(土)午後7時より
■場所・上田市内某クラブ ■会費・5000円

多数のご参加を!!

GOGO会ゴルフコンペ

■日時・9月10日(日)9時10分スタート
■場所・グランステージCC丸子コース8組32名予定
●9月9日(土)宿泊希望者は齊藤ホテル(鹿教湯温泉)

長野県上田高等学校

平成九年一月二日
詳細は後日

母校のクラブ活動紹介

ハンドボール

県大会優勝

昨年の新人戦に続き、今年も県大会でも優勝を果たした。

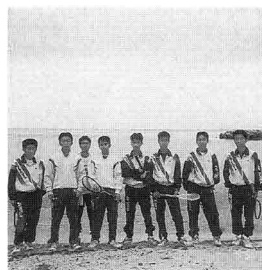
全国大会出場を決めた決勝の対屋代高戦は、前半に三点のリードを許したが中盤にひっくり返すという展開。苦しんだ末の優勝を自信につながら、慢心することなく、全国大会に向けて地道な練習を、総勢二十二人で積み重ねる。

男子ソフトテニス

太陽の下で真っ黒になりながら毎日の練習に励み、県大会団体三位で北信越大会出場、二年生が個人六位入賞で全国大会出

男子硬式テニス

平成七年度は二年生、一年生のみの新体制で発足した。班員数は二十人を超え、少ないコートで四苦八苦しながら練習に励



場という成果をあげた。三年生がわずかに二人という若いチームなので、今後県大会団体優勝をめざす。

定時制女子バスケットボール

県大会三連覇

県大会決勝は上伊那農高と対戦。選手は五人ぎりぎりしかいなかったが、日頃男子と一緒に練習したことが底力となり、前半こそ一点差だったものの後半引き離し三連覇を遂げた。全国大会で悲願の一勝をめざす。

定時制女子バドミントン

県大会個人シングルス、最初は硬さがとれなかったものの、次第にサーブ、スマッシュが決まり接戦の末優勝・三位入賞を果たし、九月の北信越大会に駒を進めた。

山岳

六月上旬の蓼科高原での県大会は、曇り空の下、時には雨にうたれながらという厳しい条件の中で行われ、第三位になる。惜しくもインターハイを逃したものの、八ヶ岳での北信越大会出場を決めた。国体強化選手も二人の新人が指定を受け、北信越国体をめざしている。全県的に山岳部衰退の傾向の中で、貴重な健闘を続けている。

陸上

一年男子の入班者が十人を越え、女子と合わせ総勢五十人を超える大所帯となった。北信越大会には、県大会で入賞を果たした四人が出場したが、そのうち二人は二年生。今後の活躍が期待される。県大会終了後、二年生を中心に新人戦に向けて新たなファイトを燃やしている。

茶道

大日本茶道学会の清水悦仙先生を講師として、松尾祭前一月は集中練習し、松尾祭には六百人以上の来校者・在校生に立礼のお茶を供し、好評だった。

国体馬術で入賞

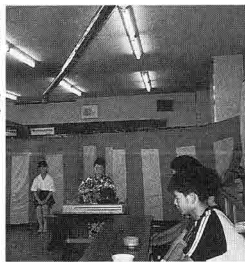
内山順子さん(三年)は昨年の国体馬術競技で見事に入賞した。スピードアンドハンディネスという、タイムと障害越えの減点の少なさを競う種目「さらに今年は精進して上をめざしたい。」と本人は抱負を語る。



八月から二月までは、風好点前、盆点、貴人点、丸卓、花月、濃茶の稽古を同窓会館でじっくり行い、その間に前山寺茶室へも出向いて稽古をしている。

書道

週二回の練習は活字から筆字を自分で書けるようにすることを基本として練習している。夏休み中に、天来記念館、驥山会館、姨捨の石碑群を探訪し学習を深めた。また県展や高文連の展覧会に出品し、県展での特選入選など好成績をおさめた。

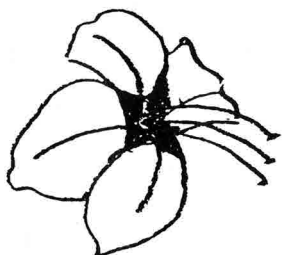


美術

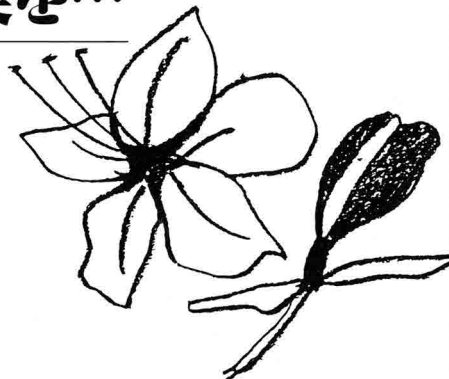
班員十八人が、毎日放課後、石膏デッサン、油彩画の製作等に真剣に取り組んでいる。松尾祭には全員が力作を発表。夏休み中には野外写生研修として、一・二年で一泊の合宿を実施。

65期、人生の中心点。益々の充実を...

上田高校同窓会役員(監事)代議員です。ご支援ください。

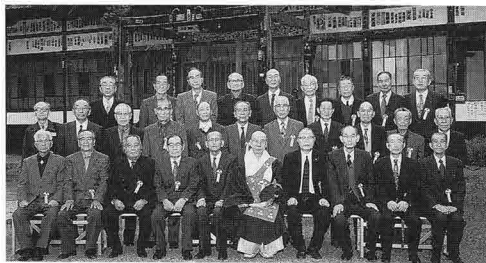


- 若林 好進
- 矢島 好健
- 小嶋 一雄
- 吉田 章比古
- 興水 一
- 布施 修一郎
- 島田 甲子雄



節目を迎えた同期会

〔34期〕平成七年四月十七日、上田城跡の桜が満開と咲き誇る...



いだから開宴、互に近況など夜の更けるまで語り合う楽しい一夜を過ごした。

〔43期〕昨年十月、恩師唐沢利直先生ご夫妻をお迎えし、別所温泉北向観音堂で半田孝淳導師のもと、故人となられた恩師と同期生の物故者慰霊法要を行い、

OB会つうしん

体操班 恒例のOB会が平成七年一月三日、市内の料亭で開かれました。



〔44期〕七月二日昭和二十年卒の五十周年記念の同年会を上田

との交流会を中心に予定しております。多数の参加をお願いします。

田ホテルで五十六人の参加を得て開きました。戦時特別措置で四年で卒業し、陸士・海兵特幹、

野球班 平成七年一月総会開催と共にOB会名簿二回目を発刊、第一期から第七十三期まで七百

しきことをしようと計画中です。私達は今まさに働き盛りの時ですが、志半ばにこの世を去った同期生も二桁を数えます。

吹奏楽団 毎年恒例のOB会は一月二日に市内で行われている。六月十日には、自由曲「展覧会の絵」で東海大会出場を果した

教職員 訃報

久保良男先生(理科) 平成六年八月八日逝去 昭和十八年より昭和二十三年まで在職

70期 卒のみなさま お元気ですか? (昭和47年3月卒業) 同期会のご案内 日時：平成8年1月2日(火) 午後1時より 場所：ホテル上田温泉



ピンチ同窓会維持会費にご協力を

多角的利用の同窓会館の維持運営費は、同窓生の善意による「維持会費」で賄われ、六年度決算では六百六十万余円を計上できた。しかし、収支総合計で次年度繰越金が過去十年間で最低額となった。諸費値上りの今日、ギリギリの線に追いつき、本部では頭を抱えている実情。母校では、全日・定時制併せて千三百余名の生徒が学ぶマンモス校となり、校舎代わりに同窓会館の利用が活発となった。

高校史のご購読を

長野県上田高等学校校史、高等学校第一編が一冊掲載のとおり出版された。山城委員長のお目、ギリギリの線に追いつき、本部では頭を抱えている実情。母校では、全日・定時制併せて千三百余名の生徒が学ぶマンモス校となり、校舎代わりに同窓会館の利用が活発となった。

多目的利用としての意義は充分満されているが、それを維持するための「維持会費」の納入は在籍する後輩のための激励と応援に直結するものであることを理解して、未納の方の新規納

入、既納の方の増額を本部でお願いしている。

同窓会取扱図書のご案内

お申し込みは同封郵便振替用紙で。(送料共)

- | | |
|--|------------------|
| 1. 同窓会会員名簿
(1990年版・同窓会編) | ¥4,000 |
| 2. 上田高等学校史「草創編」
(明治8年～明治32年・倉沢 剛著) | ¥1,500 |
| 3. 上田高等学校史「中学前編」
(明治33年～大正15年・柳沢文秋著) | ¥3,000 |
| 4. 上田高等学校史「中学後編」
(昭和2年～昭和22年・校史編纂会編)
セット価格 3.4.の二冊一組 | ¥3,000
¥5,000 |
| 5. 上田高等学校史「高校第一編」
(昭和23年～48年・校史編纂委員会) | ¥3,000 |
| 6. 高校風土記「上田高校ものがたり」
(毎日新聞 102回連載・林邦雄記者著) | ¥1,800 |
| 7. 上田高校柔和会史(柔和会編) | ¥5,000 |
| 8. 上田高校野球部史(野球部後援会編) | ¥1,000 |
| 9. ブロンズ「ミニ校歌碑」
(47期卒業30周年記念作品) | ¥2,500 |
| 10. 戦後上田高校野球部史
(昭和21年～32年)新美欣也編集 | ¥4,000 |

ご 注 意

本同窓会の許しもなく、本会の名称を使い、文書や電話で物品等の勧誘をする者がおります。申込先が「上田市大手1-9-8本同窓会あて」以外のものは、本会とは無関係ですので、十分ご注意ください。＝事務局＝

編集委員(期)
横山 二男 (47) (49) (55) (57)
青島 二男 (55) (57) (64) (66) (68) (73) (75) (84)
香山 裕 (56) (64) (66) (68) (73) (75) (84)
橋本 尚 (56) (64) (66) (68) (73) (75) (84)
田辺 昭夫 (57) (64) (66) (68) (73) (75) (84)
増田 幸一 (57) (64) (66) (68) (73) (75) (84)
小土屋 光夫 (57) (64) (66) (68) (73) (75) (84)
川口 剛 (57) (64) (66) (68) (73) (75) (84)
増田 恵都子 (57) (64) (66) (68) (73) (75) (84)
顧問 水野 春海
相談役 佐藤 専太郎

同窓生の出版物紹介

囲碁いろは歌 中山典之(49期)
囲碁いろは経 中山典之(49期)
波乱と流転の人生 井出実(33期)
上深井村松尾家のルーツ 松尾介石(41期)

↓編集後記↓

新しい時代に向けての息吹きを今号の中に感じとっていただければ編集子としてこれに過ぎるものない。

時の流れは千曲川の如く絶えることはない。しかし、その源流は「一滴の水」である。水無ければ、空気同様、自然界の生存がない。わが同窓会は「君の一手」を待っている。(横)



上田第一ホテル

〒386 長野県上田市中央2-6-13
☎0268-23-0011 ☎0268-25-0434

アクティブなビジネスシーンに イタリアの風をお届けします。

活動的な一日を終えて
ふと本来の自分を取り戻す時
心からやすらげる場所として
快適な空間をご用意して
お待ちしております。



1995年7月3日 OPEN
会長 小林 軍治(37期)
社長 柳澤 章雄(59期)

